

平成 30 年 5 月 14 日

各 位

一般社団法人

日本トンネル専門工事業協

代表理事 会長 野 崎 正



平成 30 年度第 1 回「登録トンネル基幹技能者」講習開催案内

I. 講習の開催概要

本講習は、建設業法施行規則第 18 条の 3 の 6 の規定に基づき、本協会が「登録トンネル基幹技能者」の資格認定を行うため、次の要領で実施するものです。

なお、全ての講義科目を受講し、試験に合格した後、登録基幹技能者育成委員会（以下「育成委員会」と言う）にて修了認定された者には、登録トンネル基幹技能者講習修了証が交付され、国土交通省へ提出する経営事項審査において、3 点が付与されることになっております。

(1) 受講の資格

- ① 経歴基準：トンネル技能に関する実務経験を 10 年以上有する者で、そのうち職長等の指導監督的な実務経験を 3 年以上有する者。
- ② 資格基準：職長としての十分な技能を有することが確認される発破技士、火薬類取扱保安責任者（甲・乙）、土木施工管理技士（1 級・2 級）の各資格、及び優秀施工者（建設マスター）顕彰の内、いずれか 1 つを有していること。

(2) 講習の内容

- ① 講習日数：3 泊 4 日の合宿を原則とする。
- ② 講習時間：講習 24 時間、試験 2 時間、開・閉講式 2 時間の合計 28 時間とする。
- ③ 使用テキスト：登録基幹技能者共通テキスト —建設業振興基金編—
登録トンネル基幹技能者専門テキスト —本協会編—
その他テキスト
- ④ 科目内容および講義時間

講義科目	科目ごとの内容	講義時間
登録基幹技能者一般知識に関する科目	基幹技能者のあり方等（OJT 教育含む）	3 時間
	トンネル各種施工法	2 時間
	施工要領・施工計画等	1 時間
	建設業法等関係法令（各科目講義内容に含む）	（2 時間）

建設工事の施工管理、その他技術上の管理に関する科目	施工管理、工程管理、資材管理、事務管理、原価管理、品質管理、安全管理、環境管理 に関する事項	18 時間
試 験		2 時間
開講・閉講式		2 時間

(3) 開催期日と会場・宿泊所

- ① 期日：平成 30 年 7 月 12 日（木） 13:00 ～ 18:00
7 月 13 日（金） 8:00 ～ 18:00
7 月 14 日（土） 8:00 ～ 18:00
7 月 15 日（日） 8:00 ～ 13:00
- ② 会場・宿泊所：富士教育訓練センター（宿泊・食事付き）
静岡県富士宮市根原 492-8（別添案内図参照）
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336
〔アクセス〕 東海道新幹線「新富士」駅よりタクシーにて 50～60 分。
なお、7 月 12 日（木）は、新富士駅より送迎バスを運行
（11:15 出発）する予定です。
- ③ 宿泊費・食費等：12,000 円（3泊9食税込）
- ④ 服装等：講習期間中は会社作業服及び運動靴を着用のこと。

(4) 募集定員 30 名（先着順）

(5) 受講料等

- ① 受講料：15,000 円（テキスト代等）
- ② 登録料：20,000 円（但し、講習修了認定者）
- ③ 助成金：受講者雇用主は、所轄の都道府県労働局に対し、以下の支給申請が可能。尚、支給申請書には当協会の受講証明が必要となる。
- ・受講料助成金 9,000 円／人（15,000 円×60%）
 - ・賃金助成金 26,600 円／人（6,650 円×4 日）

【注】「所定労働時間外に実施する講義の受講については、所定の割増賃金を支払っている場合」及び「講習開催日のうち土、日については、当該日を出勤扱い(法定の割増賃金支払い又は振替休日の付与)とした場合」に賃金助成の対象となる。尚、当助成金を申請する場合には、講習が開始される 1 週間前迄に所轄労働局宛「計画届」の提出が必要となる。

(6) 講習修了認定および講習修了証の交付等

- ① 試験の結果、100点満点のうち60点以上を得点し、育成委員会で修了認定された者には、本協会から「登録トンネル基幹技能者講習修了証」を交付する。
- ② 講習修了証交付者の記録は本協会で保管し、(一財)建設業振興基金の登録基幹技能者データベースに登録する。
- ③ 育成委員会にて、修了認定されなかった者には、その旨を文書で連絡し、翌々年度まで且つ2回まで再受験(講習受講免除)を認める。

II 受講申込要領

(1) 申込みに必要な書類等

- ① 「受講申込書」別添(様式-1)、及び「受講申込資格確認・証明書」別添(様式-2)の記載欄に必要事項を記入し捺印する。
- ② 顔写真(無帽で肩から上部を最近6ヵ月以内に撮影したもの)を2枚(サイズは縦4cm×横3cm)用意し、裏面に氏名を記入の上、うち1枚は上記申込書(様式-1)の所定欄に貼付、残り1枚はクリップで止めて提出する。
- ③ 受講申込必要資格(保有資格証は全て)の写し、及び職長教育修了証の写しを添付し提出する。

(2) 申込みの方法等

- ① 申込受付：当協会ホームページに講習案内を掲載した翌日より受付を行う。
- ② 申込方法：受講申込書(様式-1)に必要な書類を添えて、封筒表に**受講申込書**
在中と記載の上、下記宛に**簡易書留**にて送付する。
- ③ 送付先：〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロドリー西新橋9階
一般社団法人 日本トンネル専門工事業協会 宛
- ④ 申込開始・締切日：
「登録トンネル基幹技能者講習案内」を当協会ホームページに掲載した翌日から講習開催日の1週間前までとする。
(但し、先着順に受付し定員になり次第締切る。なお、投函日判定とするが、期日は所要の申込書類が整った投函日とする)
- ⑤ 受講料・宿泊費・食費の納付：
受講申込者は受講許可書及び請求書を受領後、速やかに下記銀行口座へ振込むこと。

【振込先】

三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店 普通口座 0047102
一般社団法人 日本トンネル専門工事業協会 代表理事 野崎正和
受取口座名義 シャ) トンネルセンモンキョウ

(3) 受講申込み後から受講まで

- ① 事務局は、受講資格を審査して、受講を受付けた旨の文書を送付する。
- ② 資格審査で受講が認められない者及び定員超過後の申込者には、その旨を連絡する。
- ③ 受講票は写真を貼付して、講習開始日に講習会場の受付けで配布する。

(4) 個人情報の取扱いについて

- ① 受講申込書に記載された個人情報は、登録トンネル基幹技能者業務、公的機関等からの登録基幹技能者に関するアンケート調査等に利用します。
- ② 試験合格者の氏名、フリガナ、年齢、勤務先、講習修了番号、修了日は当協会発行の会報、ホームページ、及び登録基幹技能者データベースサイト等にて公表します。

*本講習受講申込書を提出された場合は、以上の利用目的、方法にご了承頂いたものと致します。

以 上

(様式—1)

平成30年度第1回「登録トンネル基幹技能者講習」受講申込書（富士宮会場）

一般社団法人
日本トンネル専門工事業協会
代表理事 会長 野崎正和 殿

私は、以下の通り貴協会が実施する「登録トンネル基幹技能者講習」の受講を申込みます。申込みに当たり「受講申込資格確認・証明書」（様式—2）及び定められた必要書類を添付します。

平成 年 月 日

氏名： ⑩

(顔写真貼付)

6ヶ月以内の

正面・無帽

1. 受講場所	富士宮市	2. 講習期間	2018年 7月 12日 (木) ~2018年 7月 15日 (日)	
(フリガナ)			<input type="checkbox"/> 昭和・ <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日生	
3. 申込者氏名		年齢	歳	
4. 申込者住所 (自宅)	(〒 —)	TEL :	FAX :	
5. 申込者勤務 先現住所	(〒 —)	TEL :	FAX :	
6. 所属会社名 会社住所 担当者氏名	(〒 —)	TEL : 担当者氏名	FAX :	
7. 今後の連絡先 (右欄に✓印をして下さい)	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 会社			

(注) 申込みに当っては、別紙の「受講申込資格確認・証明書」(様式—2)とともに、記入要領に従って記入し必要書類を添付して下さい。

平成30年度第1回「登録トンネル基幹技能者講習」
受講申込資格確認・証明書（富士宮会場）

一般社団法人

日本トンネル専門工事業協会

代表理事 会長 野崎正和 殿

(フリガナ)		昭和・平成 年 月 日生
申込者氏名		年齢： 歳
申込者住所		

イ. 経歴基準について

私のトンネル工事における実務勤務経験、及び職長経験は下記の通りです。

所属 会社名	職長 経験	トンネル工事名	実務勤務期間	実務経験 年数	業種	作業の種類
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
			年 月～ 年 月	年 ヶ月		
※トンネル実務経験期間の合計 年 ヶ月、うち10年以上の業種 _____ 年 ヶ月 うち職長経験期間の合計 年 ヶ月						

注1：受講資格として、同一業種で10年以上のトンネル工事の実務経験と、そのうち3年以上の職長経験が必要です。上表に、上から古い順にトンネル工事名を記入して下さい。

注2：職長経験工事は職長経験欄に○印を入れて下さい。職長経験期間の合計は、経歴10年以上の業種における期間の合計を記入して下さい。

注3：「業種」の欄には、とび土工工事業、又は土木工事業を記入して下さい。

注4：「作業の種類」欄には、トンネル掘削工1式、覆工1式とか火薬係りとか、担当した技能作業を具体的に記入して下さい。

注4：事業主が受講者の場合、証明者記載欄の証明は、工事注文者をお願いして下さい。

ロ. 資格基準について

下記の（ ）内に記載のある該当事項を○で囲んで下さい。また、該当資格者証・修了証の写しを全て提出して下さい。

私は、発破技士免許の資格を持っています。（・はい　・いいえ）

私は、火薬類取扱保安責任者（・甲種・乙種）の資格を持っています。（・いずれも持っていない）

私は、ずい道等（・掘削・覆工）作業主任者の資格を持っています。（・いずれも持っていない）

私は、（・土木1級・土木2級）施工管理技士の資格を持っています。（・いずれも持っていない）

私は、国土交通大臣から優秀施工者（建設マスター）の顕彰を受けています。（・はい　・いいえ）

私は、3年以上前に職長教育を修了しております。（・はい　・いいえ）

確 認・証 明 欄

（申込者本人記載欄）

私は、登録トンネル基幹技能者講習の受講申込をするにあたり、
イ. 経歴基準、ロ. 資格基準について前記申告の通り相違ありません。
相違がある場合は、合格を取消されても異存ありません。

平成 年 月 日

本人署名

㊟

（証明者記載欄）

本講習の申込者が申告したことは、相違ないことを証明します。

平成 年 月 日

（証明者） 会社名

代表者

㊟

注1：貴社へ入社以前の経歴については、本人の申告通りであるか確認して下さい。